目次

1 はじめに 2

2 最初の手順 3

2.1 主な機能 3

2.2 システム要件 4

2.3 最初の操作 5

3 機能 6

3.1 自動起動の登録場所 6

3.2 ビューと推奨事項 7

3.3 有効化、無効化、遅延、削除 8

3.4 起動時間と項目の詳細 9

4 設定と更新 10

5 トラブルシューティング 11

6 よくある質問 13

7 サポートと O&O の関連製品 14

はじめに

O&O StartupManager は Windows とともに起動する項目を一覧表示します。各項目の推奨理由を確認して、対応している項目を有効化、無効化、または遅延できます。

このガイドでは基本操作と各機能、結果の読み方を説明します。サイドバーまたは次のリンクからお選びください。

- 最初の操作 — 初めて起動してから結果を確認するまで。
- 主な機能 — 目的に合う操作を探す。
- システム要件 — 動作環境と必要な権限を確認する。
- トラブルシューティング — よくある問題を解決する。
- よくある質問 — 操作や動作についての質問と回答。
- サポート — 問い合わせに必要な情報を確認する。

このガイドでは日本語版のメニュー名やボタン名を使用します。英語版でも、該当する操作は同じ位置にあります。

O&O StartupManager は無償で利用できます。O&O Defrag 32 にも付属しています。

主な機能

自動起動の登録内容と推奨理由を調べ、対応する項目を有効化、無効化、または遅延できます。

機能	解説
起動元	自動起動の登録場所
ビューと推奨事項	表示と推奨理由
有効化、無効化、遅延、削除	項目の操作
起動時間と項目の詳細	計測結果の読み方

一通りの操作は最初の操作、必要な動作環境と権限はシステム要件をご覧ください。

各章は現行版の機能を説明しています。必要な Windows サービス、デバイス情報、権限が得られない場合は利用できない機能があります。

システム要件

Windows とアプリケーションパッケージ

O&O Software または本ツールを含む O&O 製品が提供する、ご使用の PC 向けパッケージを使用してください。対象は Windows 10 と Windows 11 です。利用できる機能は OS のバージョン、サービス、権限、ハードウェアによって異なります。

現在のユーザーの権限で項目を確認できます。PC 全体の登録変更や一部の起動時間の計測には管理者権限が必要です。必要に応じて **ファイル → 管理者として再起動** を選んでください。

起動前に確認すること

ポータブル版は書き込み可能な場所に置き、継続して同じ場所で使用してください。使用するアーキテクチャ向けのパッケージ全体が必要です。単一ファイルを抜き出すとランタイムなどが不足することがあります。

このオンラインヘルプはブラウザーで閲覧できます。ヘルプを開くだけでアプリがインストールされることはありません。オンラインヘルプやサポートページの閲覧、更新確認にはネットワーク接続が必要です。

最初の操作

1. **OOStartupManager.exe** を起動し、スキャンによって一覧に項目が表示されるまで待ちます。
2. **すべて** で全体を見るか、**無効化を推奨** で見直しを勧められた項目を確認します。
3. 項目を選び、詳細欄で推奨理由、発行元または署名、コマンド、起動元を確認します。
4. 自動起動を止めるには、**操作** または右クリックメニューの **無効化** を選びます。
5. PC 全体の項目を変更できない場合は **ファイル → 管理者として再起動** を選び、Windows の確認画面で許可します。
6. 次回の該当するサインインまたは起動時に結果を確認します。元に戻すには **無効** から項目を選び、**有効化** を実行します。

役割が分かっている項目だけを少しずつ変更してください。セキュリティ製品や必要な機器の補助プログラムは有効のままにします。推奨事項は判断の参考になりますが、個々の環境の要件すべては考慮できません。

後から開始してよいサービスやタスクは、対応していれば **遅延** を使用します。削除は役割を理解し、今後不要であることを確認した場合に限ってください。有効化、無効化、遅延、削除をご覧ください。

自動起動の登録場所

StartupManager は 9 種類の起動元をスキャンします。**起動元**または **ファイル → 設定** で一覧に表示する種類を選んでください。

起動元	検出する項目
レジストリ	Run、RunOnce、ポリシーによる自動起動、win.ini 形式の項目。
スタートアップフォルダー	現在のユーザー用と全ユーザー用のスタートアップフォルダーにあるショートカット。
Windows アプリ	スタートアップタスクを登録した Store アプリ。
タスクスケジューラ	サインイン時または起動時に実行されるタスク。
サービス	自動的に起動するよう設定された Windows サービス。
Active Setup	ユーザーごとの初回サインイン時に一度実行されるコンポーネント。
エクスプローラーの拡張機能	エクスプローラーが読み込むシェル拡張機能とブラウザーヘルパーオブジェクト。
WMI サブスクリプション	コマンドを起動する永続イベントサブスクリプション。
ドライバー	起動時に読み込まれるカーネルおよびファイルシステムのドライバー。参照のみ。

表示状態と起動状態の違い

設定で起動元をオフにしても、スキャンは続きます。一覧から行を隠すだけで、**その起動元の自動起動を無効にはしません**。Microsoft の項目や変更不可の項目を隠すフィルターも、Windows の構成には影響しません。

ユーザー単位と PC 全体の項目

現在のユーザー用、PC 全体用、または別のユーザー用の登録があります。PC 全体の登録の変更には通常、管理者権限が必要です。同じ名前の項目は詳細欄で起動元と適用範囲を照合してください。

ビューと推奨事項

一覧上部のボタンで目的のビューを選びます。起動元の選択や検索条件は、切り替え後のビューでも有効です。

ビュー	表示する項目
すべて	現在の起動元とフィルターの条件に合う全項目。
無効化を推奨	ルールにより、自動起動を無効にするか検討するよう勧められた項目。
遅延の候補	起動を維持しつつ、開始を遅らせることができる項目。
確認を推奨	個別に確認して判断することを勧める項目。
署名なし	署名を確認できない項目、または署名に問題がある項目。
不正な項目	起動先のプログラムが見つからない項目。
無効	現在、自動起動が停止されている項目。

理由を確認する

推奨は **維持**、**無効化**、**遅延**、**確認** に分かれます。既知のプログラムに関するルールのほか、リンク切れ、重複登録、アップデーター、通知領域の補助プログラム、長期間の未使用なども判定理由になります。

行を選び、理由を読んでください。正規の小規模ツールでも署名がないことがあり、見覚えのある名前だけで安全性は判断できません。変更する前にパス、発行元、用途を確認してください。

Windows のコンポーネント、セキュリティ製品、ハードウェア用ユーティリティーは起動時間に影響していても必要なことがあります。利用中の機能が依存する補助プログラムは有効のままにします。

ビューに何も表示されない場合

すべて に切り替え、検索欄を空にして**起動元**とフィルターを確認してください。絞り込んだビューが空でも、PC に自動起動項目がないとは限りません。

有効化、無効化、遅延、削除

項目を選び、**操作** メニューまたは右クリックメニューを開きます。利用できる操作は、起動元、現在の状態、アクセス権によって異なります。

無効化と有効化

無効化 は、対応する起動元では登録を残したまま自動起動を停止します。プログラムをアンインストールする操作ではなく、実行中のプロセスがその場で停止するとは限りません。

自動起動を戻すには **無効** ビューで項目を選び、**有効化** を選択します。その項目が対象とする次回の起動時またはサインイン時に結果を確認してください。

遅延

遅延 は、条件を満たす自動起動サービスと、起動またはログオンをトリガーに持つ有効なタスクで使えます。サービスには Windows の自動（遅延開始）、対応するタスクのトリガーには 2 分の遅延が設定されます。

レジストリの Run 項目、スタートアップフォルダーのショートカット、Store アプリのスタートアップタスクでは遅延を設定できません。すでに遅延指定された項目や変更不可の項目をさらに遅らせることもできません。サービスの変更には管理者権限が必要です。

項目を削除する

削除では確認後に自動起動の登録を取り除きます。サービスやタスクの登録を削除すると、スタートアップフォルダーのショートカットを取り除くよりも広い影響が生じます。WMI サブスクリプションの場合は、フィルターとコンシューマーのバインドを削除する旨が確認画面に表示されます。

> **削除した登録を一律に元に戻すことはできません**
>
> 影響を試したいときは、まず無効化してください。削除した登録の再作成には、元のアプリでの設定、修復、再インストールが必要な場合があります。登録を削除してもプログラム本体はアンインストールされません。

操作前に内容を確認する

プロパティ、フォルダーを開く操作、コピー操作で対象と詳細を確認できます。ドライバーは参照専用で、これらの操作で起動状態を変更することはできません。

起動時間と項目の詳細

画面上部には前回の起動時間と、記録済みの起動時間の平均が表示されることがあります。どちらも Windows の Diagnostics-Performance ログから取得します。

計測値がない場合

Windows が該当する起動イベントを記録していないか、ログの読み取りに権限が必要です。権限不足と表示されたら **ファイル → 管理者として再起動** を選んでください。未計測と、計測した結果が 0 秒だった場合は異なります。

各項目の詳細

行を選ぶと、推奨事項、起動元、コマンド、ファイルの場所、バージョン、対象ユーザーを確認できます。記録がある場合は、起動の遅延、項目自体の起動時間、最終使用情報も表示されます。

起動の遅延 は Windows が起動を遅らせたと報告した項目に関する情報です。その報告がない項目でも、リソースを消費しないとは限りません。**影響スコア** は影響度の評価で、実測時間とは別の指標です。

一覧に表示する情報は **列** で選べます。変更の効果を見るには、条件をそろえて複数回の起動を比較してください。Windows の更新、接続機器、バックグラウンド処理も起動時間に影響します。

設定と更新

ファイル → 設定 を選びます。起動元とフィルターについては自動起動の登録場所をご覧ください。

表示言語と外観

全般設定で言語と表示モードを選べます。ライトまたはダークを選ぶとアプリの配色を固定し、システム設定を選ぶと Windows の配色に従います。言語の変更時に再起動を求められた場合は、作業を完了してから画面の案内に従ってください。

他の O&O 製品の一部として起動した場合は、その製品の言語と外観に合わせるオプションが表示されることがあります。

アプリケーションの更新

更新 ページでは自動確認を設定し、前回の確認日時と結果を調べられます。手動で確認するには **今すぐ確認** を選びます。新しいバージョンがあるとメイン画面のステータスバーに表示されます。その案内を選ぶと、ダウンロードと適用の前に確認画面が開きます。

通常の自動確認は起動時に最大 1 日 1 回行われます。更新が見つかっただけではダウンロードしません。更新を開始すると、ダウンロードしたアプリを検証してから再起動し、実行ファイルを置き換えます。

更新前に進行中の作業を終えてください。パッケージを置き換えられない場合はダウンロードページが開きます。Windows 回復環境では更新の確認を行いません。

更新されるのは O&O StartupManager 自体です。各機能で行う Windows やファイルシステムの操作とは別です。

トラブルシューティング

該当する症状を選び、原因と対処方法を確認してください。一般的な質問はよくある質問をご覧ください。

操作が選べない、またはグレー表示される

原因：PC 全体の項目で管理者権限が必要、保護されている、または起動元が操作に対応していない場合があります。ドライバーは参照専用です。**遅延** は条件を満たすサービスとタスクでのみ使用できます。

対処方法

1. **ファイル → 管理者として再起動** を選び、Windows の確認画面で許可します。
2. 項目を選び直し、**操作** または右クリックメニューを開きます。
3. まだ選べない場合は詳細欄で起動元と適用範囲を確認します。レジストリの Run 項目、スタートアップフォルダーのショートカット、Store アプリのタスクでは遅延を設定できません。ドライバーは変更できません。

項目が一覧に見つからない

原因：ビュー、検索語句、起動元、フィルターのいずれかで項目が非表示になっています。非表示の起動元もスキャンされますが、その行は表示されません。

対処方法

1. **すべて** に切り替えます。
2. 検索欄を空にします。
3. **起動元**を開き、すべての種類を有効にします。Microsoft の項目や変更不可の項目を非表示にするフィルターも確認してください。

起動時間が「未計測」と表示される

原因：Windows の Diagnostics-Performance ログに適切な起動イベントがないか、ログの読み取りに管理者権限が必要です。計測値がないことは起動時間 0 秒を意味しません。

対処方法

1. 権限が足りないと表示された場合は **ファイル → 管理者として再起動** を選びます。
2. Windows を再起動してから、本製品を開き直します。ログには完了した起動の記録が必要です。
3. 変更の効果は同様の条件で複数回起動して比較してください。起動時間と項目の詳細をご覧ください。

無効にした項目がまた起動する

原因：アプリの更新や修復、ポリシーの適用により登録が再作成されました。

対処方法

1. 項目を選び、詳細欄で起動元とコマンドを確認します。
2. 登録元のアプリの設定を開き、Windows とともに起動するオプションを無効にします。
3. StartupManager でもう一度無効にし、次回のサインイン時に確認します。

変更後にプログラムやデバイスが使えなくなった

原因：必要な補助プログラム、サービス、またはタスクを無効化したか遅延させた可能性があります。セキュリティ製品やハードウェア用ツールはこれらに依存する場合があります。

対処方法

1. **無効** ビューを開きます。
2. 項目を選び、**有効化** を実行します。遅延させたサービスやタスクでは、遅延を解除する操作があればそれを選びます。なければ登録元のアプリで設定を戻してください。
3. 再度サインインするか Windows を再起動し、動作を確認します。

削除した項目が再び必要になった

原因：削除すると自動起動の登録は失われます。すべての登録に共通の取り消し機能はありません。

対処方法

1. 登録元アプリの設定で、自動起動を再度有効にします。
2. 該当する設定がない場合は、アプリを修復するか再インストールしてください。
3. 次回、影響を試すだけなら **無効化** を使用します。有効化、無効化、遅延、削除をご覧ください。

Windows の確認画面が出る、またはアプリが再起動する

原因：**ファイル → 管理者として再起動** を選んだか、操作に権限の昇格が必要です。ユーザーアカウント制御の確認後、アプリが管理者権限で再起動します。

対処方法

1. 確認画面で許可します。再起動後に一覧が再スキャンされます。
2. 許可しない場合は現在のユーザーの権限で続行し、PC 全体の項目は変更できないままです。

よくある質問

項目を無効にするとプログラムもアンインストールされますか？

変更するのは自動起動だけです。プログラムは手動で起動でき、すでに動作中のプロセスは終了するまで実行を続ける場合があります。有効化、無効化、遅延、削除をご覧ください。

選択できない操作があるのはなぜですか？

管理者権限が必要な場合、項目が保護されている場合、その種類で操作をサポートしていない場合があります。ドライバーは参照専用です。遅延を指定できるのは条件を満たすサービスとスケジュールされたタスクだけです。トラブルシューティングをご覧ください。

一覧に項目が見つからないのはなぜですか？

すべて に切り替え、検索欄を空にして、**起動元**とフィルターを確認してください。起動元を非表示にしても自動起動は無効になりません。自動起動の登録場所をご覧ください。

「無効化を推奨」の項目は自分の環境でもすべて無効にできますか？

理由を読み、使用している機能への影響を確認してください。推奨判定がすべての機器や業務の要件を把握しているわけではありません。取り消せる変更を少しずつ試してください。ビューと推奨事項をご覧ください。

削除を取り消せますか？

削除した登録を一律に復元する機能はありません。動作を試すだけなら無効化を選んでください。削除後は、登録元のアプリで再設定や修復が必要になることがあります。

起動時間が表示されないのはなぜですか？

Windows のパフォーマンスログの読み取りに管理者権限が必要な場合や、該当するイベントがない場合があります。未計測は起動時間 0 秒を意味しません。起動時間と項目の詳細をご覧ください。

項目がまた現れたのはなぜですか？

アプリの更新や修復、ポリシーの適用で自動起動の登録が再作成される場合があります。継続的に止めるには登録元アプリの設定も確認してください。

サポートと O&O の関連製品

O&O StartupManager のヘルプとサポートの利用方法、更新の確認方法、O&O の関連製品をご案内します。

サポート

- **このヘルプ**：**F1** またはヘルプボタンで、現在のウィンドウに対応するオンラインヘルプを開きます。トラブルシューティングにはよくある問題の原因と対処方法、よくある質問には一般的な質問への回答があります。
- **O&O サポート**：O&O Software サポートで追加の情報や問い合わせフォームを利用できます。

問い合わせに必要な情報

次の情報をお知らせください。

- O&O StartupManager と Windows のバージョン。
- 問題を再現するまでの操作。
- 表示されたメッセージの全文とエラーコード。
- 詳細欄に表示された対象項目の起動元とコマンド。

スクリーンショットやレポートにはファイルパスやプロセス名などが含まれることがあります。共有前にご確認ください。

ライセンスと更新

使用中のパッケージのダウンロード、製品説明、ライセンス情報は O&O 製品一覧をご覧ください。他の O&O 製品に付属するツールの場合は、その製品名とバージョンもお知らせください。

本製品の更新は設定の **更新** ページで確認・適用できます。設定と更新をご覧ください。

O&O の関連製品

O&O Software はバックアップ、データ復旧、ストレージ最適化、Windows 管理用のツールも提供しています。目的に応じて製品を選んでください。ヘルプを閲覧しただけでは、他の製品がインストールされたり有効化されたりすることはありません。

製品	用途
O&O Syspectr	PC とサーバーのリモート監視・管理
O&O DiskImage	ドライブとシステム全体のバックアップ・復元
O&O Defrag	PC とサーバーのストレージの最適化
O&O DiskRecovery	削除したファイルや破損したファイルシステムからのデータ復旧
O&O ShutUp10	Windows のプライバシー設定の管理
O&O SafeErase	ファイルや空き領域のデータを復元できないように完全消去

全製品は製品一覧で確認できます。